

興居島の船踊り

島にとどろく太鼓にあわせ 船の上にて勇ましく



保存してください。いつかまた お役に立ちます

主な内容

- 興居島特集…………… 2面
- マイナンバー詐欺にご注意ください…………… 3面
- 国民年金…………… 4面
- 市民ガイド…………… 7～11面
- イルミネーション花園2015…………… 12面

発行：松山市役所
編集：総合政策部シティプロモーション推進課
毎月1日・15日
☎948-6705 FAX934-2578
http://www.city.matsuyama.ehime.jp/



「静と動」の
使い分けが重要
興居島船踊保存会
山内 望さん

船上での演舞は非日常なので、踊りへの思いも一層強くなります。船踊りは「せりふ」がないので動きが全て。「静」と「動」の使い分けを特に意識しています。演舞した子どもたちには先人への敬意、お客さんやスタッフを大切にすることが大切。演目や振り付けは時代の流れに合わせて自分たちの考えを織り交ぜながら受け継いでいってほしいです。

晴れ渡る秋空の下、力強い舞を披露する演者らに対し、岸に詰め掛けた観客からは惜しみない拍手と歓声が送られました。また地元中学生らが水軍太鼓の演奏を披露し、会場はさらに盛り上がりました。

毎年、秋祭りの時期に披露される「船踊り」。興居島に凱旋した伊予水軍の戦士が戦勝を祝い歓迎する島の人たちに対し、戦いの様子を再現して見せたことが起源とされています。歌舞伎調の演出ですが、太鼓のリズムにあわせた黙劇で、船上で演舞するのが特長です。

圏文化財課 ☎948 6603・FAX 934 6248

興居島にある船越和氣比賣神社の秋の祭礼行事の一つ、「興居島の船踊り」が10月3日に行われました。3年ぶりに復活した船上演舞を一目見ようと、島内外から多くの人が詰め掛けました。



水軍太鼓を演奏する中学生ら



見事な立ちまわりに会場からは拍手が